

2022 Disclosure

上半期の事業報告

(2022年4月1日～2022年9月30日)



青梅信用金庫

2022年度 上半期の業績をご報告します

あおしんは、2022年3月6日に創立100周年を迎えました。創業の精神である「共存同栄」の理念のもと、多くの地域の方々に支えられて発展してまいりました。

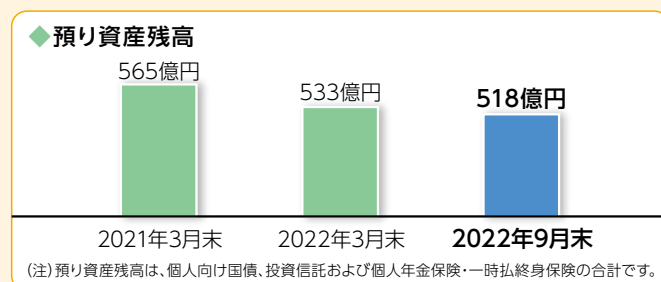
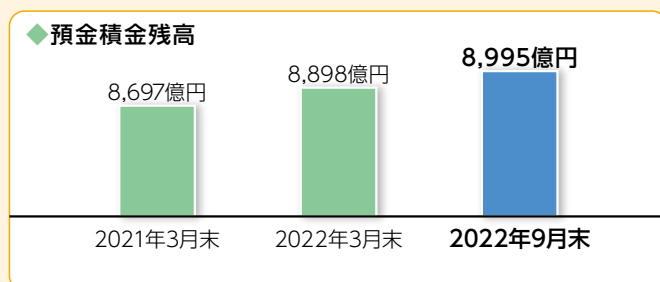
2021年度からスタートした3ヵ年の中期経営計画では、「経営支援によるお客さまの価値向上」を基本方針としています。コロナ禍での経済活動の停滞やウクライナ情勢悪化を受けた物価上昇、急激な円安進行など厳しい環境にある中で、あおしんはお客さまへの経営支援を最優先に活動してまいります。

経営目標		
指標	2022年度年間目標	2022年度半年間の実績 (4月～9月)
自己資本比率	10%以上	11.27%
不良債権比率	3%台	3.63%
当期純利益	19億円	21億円



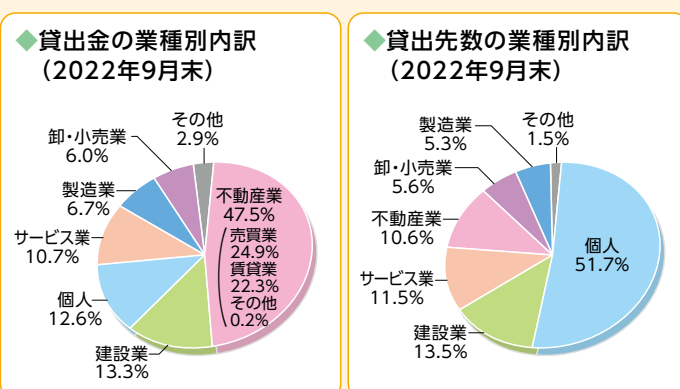
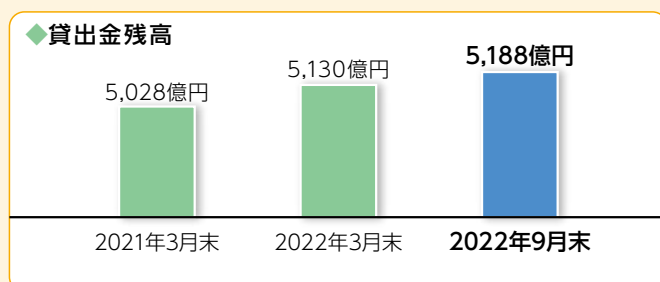
預金積金と預り資産の状況

2022年9月末の預金積金残高は、2022年3月末比97億円増加し、8,995億円となりました。また、2022年9月末の預り資産残高は、個人年金保険などの満期償還が多く、2022年3月末比15億円減少の518億円となりました。



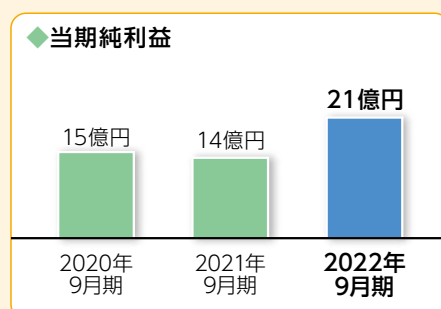
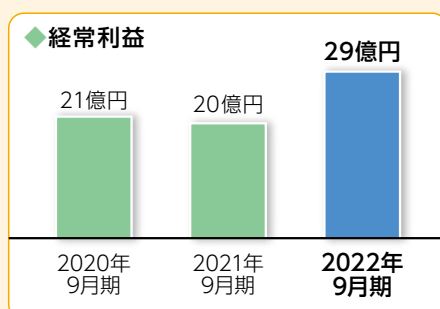
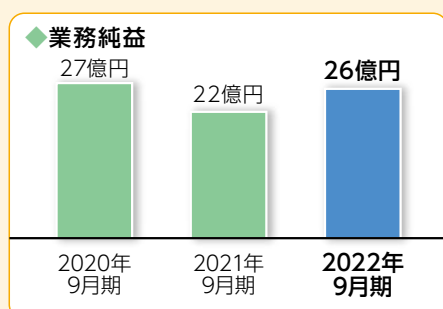
貸出金の状況

2022年9月末の貸出金残高は、地域のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えした結果、2022年3月末比57億円増加し、5,188億円となりました。



損益の状況

本業の収益を示す業務純益は、有価証券運用などの収益が増加したことにより、2021年9月比3億6千万円増益の26億円、また経常利益は29億円、当期純利益は21億円となりました。



自己資本比率の状況

自己資本比率は、金融機関の健全性・安全性を示す重要な経営指標の一つです。信用金庫などの国内で業務をおこなう金融機関は4%以上の自己資本比率が求められている中、十分な水準を維持しています。

◆自己資本の構成および定量的な開示事項

(単位:百万円)

	2022年3月末	2022年9月末
自己資本の額(A)	50,149	51,918
コア資本に係る基礎項目の額	50,255	52,016
コア資本に係る調整項目の額	105	98
リスク・アセット等の額の合計額(B)	452,791	460,436
自己資本比率(A)÷(B)	11.07%	11.27%
単体総所要自己資本額	18,111	18,417
信用リスクに対する所要自己資本の額	17,208	17,514
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	903	903

有価証券の状況

お客さまからお預りしている預金積金は、貸出金のほか、有価証券でも安全性を重視した運用をしています。

2022年9月末の有価証券残高は、海外金利上昇等の市場環境を踏まえ、国債の売却や地方債の償還により減少。償還資金等の再運用を控えて預け金へ振り替えた結果、2022年3月末比124億円減少し、1,186億円となりました。

◆その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

種 類	2022年3月末			2022年9月末		
	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
株式	1,901	1,246	655	1,821	1,246	575
債券	96,494	96,261	233	86,092	87,174	△1,081
国債	34,631	34,290	340	25,562	25,764	△202
地方債	7,078	6,997	80	5,856	5,798	58
社債	54,784	54,972	△188	54,672	55,611	△938
その他	32,732	29,079	3,652	30,719	28,609	2,110
合計	131,128	126,586	4,541	118,634	117,029	1,604

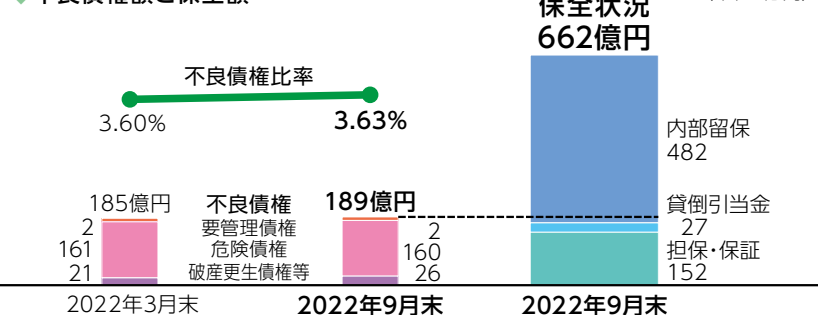
(注)その他有価証券で市場価格のない株式等が、2022年3月末58百万円、2022年9月末58百万円あります。

信用金庫法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

2022年9月末の不良債権額は、189億円となりました。この不良債権額を確実に回収する担保・保証額と、貸倒引当金の合計額は180億円、保全率は95.27%となりました。さらに、別途特別積立金等の内部留保482億円により盤石な態勢をとっており、より一層の資産の健全化に努めています。

◆不良債権額と保全額

(単位:億円)



◆信用金庫法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円・%)

区 分	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による 回収見込額(c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b)÷(a)	引当率 (d)÷(a-c)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	2022年3月末	2,142	1,935	207	100.00	100.00
	2022年9月末	2,662	2,368	293	100.00	100.00
危険債権	2022年3月末	16,116	12,833	2,454	94.86	74.77
	2022年9月末	16,000	12,710	2,464	94.84	74.91
要管理債権	2022年3月末	295	166	14	61.50	11.42
	2022年9月末	247	166	12	72.26	15.16
三月以上延滞債権	2022年3月末	—	—	—	—	—
	2022年9月末	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	2022年3月末	295	166	14	61.50	11.42
	2022年9月末	247	166	12	72.26	15.16
小 計(A)	2022年3月末	18,554	14,935	2,676	94.92	73.97
	2022年9月末	18,910	15,246	2,770	95.27	75.60
正常債権(B)	2022年3月末	495,635				
	2022年9月末	501,844				
総与信残高 (A)+(B)	2022年3月末	514,189				
	2022年9月末	520,755				

(注) 1. 対象債権は貸出金、債務保証見返、外国為替、未収利息等の資産です。

2. 不動産の担保評価は路線価の70%で評価しております。また、保証は信用保証協会等の優良保証などです。

掲載している比率・金額は、単体ベースです。単位未満を切り捨てて表示しているため、合計・差額等と一致しない場合があります。

信用金庫PRコンクール 最優秀賞を受賞

創立100周年を記念して制作した「あおしんプロモーションビデオ」が、信用金庫関連団体が主催する第41回信用金庫PRコンクール・インターネット部門において最優秀賞に選ばれました。

お客さまとともに歩んできた100年を2人の職員が過去から未来へ向かって走りながら紹介しています。



動画はあおしんのホームページやこちらからご覧になれます。



NEXT100 ～新たな100年へ～

あおしんは2022年3月6日におかげさまで創立100周年を迎えることができました。地域の成長の先にある”輝く未来”へ向かって新たな100年を築けるよう、これからも地域のお客さまのために活動してまいります。

NEXT
100
新たな100年へ



青梅信用金庫の概要 (2022年9月30日現在)

創 立：1922年(大正11年)3月6日

本店所在地：〒198-8722

東京都青梅市勝沼三丁目65番地

☎0428-24-1111(代表)

<https://www.aosyn.co.jp/>



預金積金：8,995億円

貸 出 金：5,188億円

有価証券：1,186億円

出 資 金： 22億円

出資口数：4,520,780口

会 員 数：46,160人

店 舗 数：35店舗

店舗外ATM：9店舗

役 職 員 数：664人